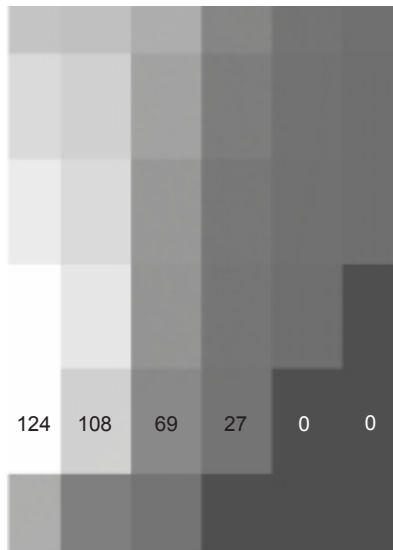


ステレオ表示の自動平滑化

下のアナグリフ用に作られた図を立体視すると、正確にジオリファレンスした衛星画像や正射写真、世界中至る所の任意の解像度の地図が、平滑化された高品質のステレオ画像として自動的に表示されます。この機能を利用するには、TNT 製品版と一緒に無料で提供されている、世界 90-Meter 標高データや米国 30-Meter 標高データまたは自分のローカルな DEM がパソコンのディレクトリにあることだけです。表示ウィンドウの [ステレオ (Stereo)] アイコンを押すと、デフォルトに選択した DEM が自動的に地表面レイヤとして使われ、現在表示中の画像の画面解像度に合うように、共一次内挿法 (バイリニア) を用いて平滑化されます。この地表面レイヤの平滑化は、ステレオ表示やアナグリフ印刷において自動的に機能します。



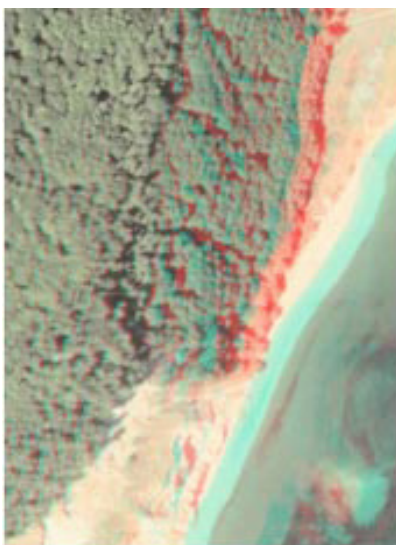
これらの図で使用されている地形図 (海底崖エリア)。6メートル (20 フィート) 間隔の等深線。111メートル (367 フィート) の起伏。



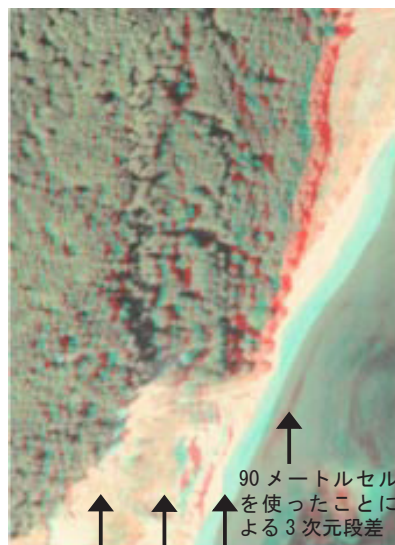
同じ場所の無料の世界 90-Meter 標高データ。セルサイズは 62 メートル × 93 メートル。標高値 (メートル単位)。



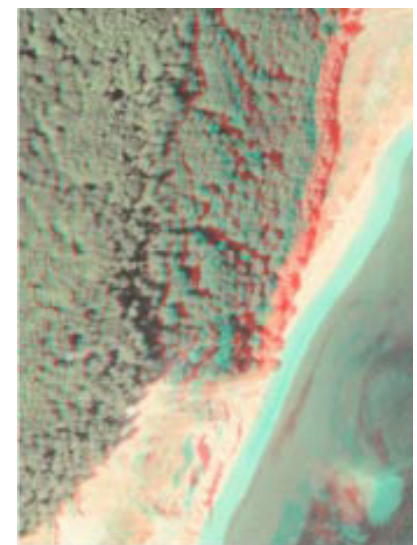
下図に示された海底崖エリアのステレオ表示において自動内挿された 1 メートルセルの地表面レイヤ。



セルサイズが 2.3 × 3.4 メートルの LIDAR 地表面レイヤを使った、1 メートル解像度の正射画像のステレオ表示 (等倍表示)。



上図の内挿がない 90 メートル標高セルを使った 1 メートル画像のステレオ表示。



90 メートル標高セルから自動内挿された地表面レイヤ (上図) によって平滑化されたステレオ画像。